

青申だより

令和5年1月4日発行 VOL.149

発行元:尾道市久保1丁目 11-1
(一社)納税相談センター
尾道青色申告会 尾道地区会

<http://www.onomichi-aoshin.jp/>



尾道地区会	☎0848-37-9594 ☎0848-37-9591
因島地区会	☎0845-22-2211 ☎0845-22-6033
世羅郡地区会	☎0847-22-0529 ☎0847-22-3415
御調町地区会	☎0848-76-0282 ☎0848-76-2118
瀬戸田地区会	☎0845-27-2008 ☎0845-27-3518

年末調整は1月20日までにお越しくだ

納付期限は令和5年1月20日です。(納期特例ではない方の期限は令和5年1月11日です。)
納付額が0円の場合でも納付書の提出が必要です。
分からないことや必要なものが不明な場合は、お早めにお問い合わせください。

★確定申告については別紙にてご案内しております。

税理士の先生の無料相談

事前にお電話ください

1月19日(木) 10時~16時

※2月、3月は申告時期のため、お休みです

※日付は変更になることがあります



3年ぶり第64回青色申告会中国ブロック大会開催



去る10月4日(火)、広島国際会議場において中国5県の青色申告会員総勢417名が参加して第64回青色申告会中国ブロック大会が、コロナ禍の影響もあり3年ぶりに開催されました。尾道地区会4名、因島地区会3名、世羅郡地区会1名、瀬戸田地区会1名、合計9名が参加しました。

第1部では八坂全国青色申告会総連合会長の挨拶、迫中国青色申告会連合会会長の挨拶、来賓の細田広島国税局長の祝辞と続き、会員増強表彰式がありました。

第2部では、中央情勢報告として「青色申告制度施行・青色申告会結成70年の歩み」について映像でふりかえりました。続いて岸田文雄内閣総理大臣夫人 岸田裕子様への記念講演がありました。総理との馴れ初め、家庭内のエピソード、バイデン米大統領訪日時のエピソード等を披露されました。最後に次回開催の島根県青色申告会連合会金森会長が挨拶されました。

文化講演会

講師：キャスター・ジャーナリスト 安藤優子氏



1. 北朝鮮問題

最近、ミサイル発射が続いており核放棄はありえない。人民は飢えさせても核は手放さない。北朝鮮には2回取材に行ったが、1回は小泉総理と同行取材した。小泉総理が北朝鮮の金正恩総書記と握手したとき笑顔はなかった。

また、会食のときも小泉総理は口をつけなかった。そのあと、小泉総理は宿泊所に戻り日本から持参したおにぎりを食べた。北朝鮮では常に監視されているという噂があり緊張した。広場に屋台もたくさん出ており、ジャガイモのクレーを食べが何の味もしなかった。

また、北朝鮮は見せたいものは見せるという姿勢がある。

2. 金丸 信

女子大生時代にアルバイト中、テレビ朝日のディレクターにスカウトされ20歳にして飛び込んだテレビ業界でしたが、当時の中曽根政権の内閣改造を前に、プロデューサーから自民党幹事長の金丸信のところへ取材に行けと命じられた。最初は、金丸氏も女子大生のファンが来たと勘違いした様子もあり、キャメルの下着とジャンパーを羽織って勝手口から出てきて、マスコミ嫌いの大物政治家からコメントを引き出すことに成功した。局に帰ったら、「やればできる」に続いてプロデューサーが放ったのが「政治家はおねえちゃんが好きと言っただろ」という言葉。それから女であることを感じさせないようにしようと思った。

3. 中曽根元総理

20代の時に中曽根元総理へ取材に行くと「小娘が来た」「なんでおまえが俺のところにくるんだ」という感じでよく怒られました。最初は、家で取材の原稿を練り自分の聞きたいことだけを聞いていると全く相手にされないの、原稿を持たずに相手の言うことをよく聞いて取材していくうちに打ち解けてきて大変優しくなり取材することができた。またアメリカ外交では、中曽根元総理は相手と同じ言語で話さないと心通じ合わないという信念のもと、家でF E N放送を聞いて英語の勉強をした。

そして「ロン・ヤス」の関係を築いた。

1円玉募金と使用済み切手について

女性部では、1円玉募金と使用済み切手を集めています。

1円玉募金

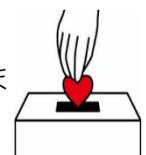
寄付先は全青色女性部役員で検討し、どこに送付するかが決められます。

- 今までの送付先：東日本大震災義援金・中越沖地震義援金
宮崎県口蹄疫被害義援金 等

使用済み切手

全青色で一括して東京青梅市にあります盲老人ホーム聖明園に送ります。

- 聖明園は目の不自由なお年寄りが主に暮らしている場所で、
ここの老朽化による建て替え資金の一部として使われています



回収先：当会事務所にて（随時受付けております）

次回発行予定日：令和5年4月